

# 祝成人



平成18年  
勝山市新成人数 330人

教育会館では、新成人による成人式実行委員会が主催となり、成人のつどい（懇親会）が開かれました。会場では、参加者が久しぶりの恩師や友達との再会を喜び、近況報告や学校の頃の思い出話で賑わいました。また、中学校時代の思い出写真のスライドショーやビンゴゲームなどで、楽しいひと時を過ごしました。



平成18年勝山市成人式が、1月8日に市民会館で開催されました。参加された294人の新成人を前に、山岸市長は、「夢の実現に向けて失敗を恐れず、挑戦し努力を続けてほしい」と激励の言葉を贈りました。式典では、「新成人の声」の表彰や最優秀作品の朗読、新成人の誓いのことばなどが厳かに執り行われました。



華やかな門出



夢に向かって



「新成人の声」作文で最優秀賞を受賞した山 緑さん



再会の喜び



新成人から



木下美紀さん  
=北郷町檜曾谷=

大人になったことを機に、大人として自立したいと思えます。小学生の頃からピアノを習っていたこともあり、将来は音楽の教師になることを目標にしています。成人式では、勝山出身のかたからのメッセージで、勝山のことを思っていてがんばっている人がいることに励まされました。



瀧川直樹さん  
=芳野町1丁目=

これから社会に出ることになりますが、できるだけ社会に貢献してみたいです。具体的な目標や夢は、これから自分の中で考えていこうと思っています。自分を育ててくれた親には「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。



新成人の誓いを述べる西川 徹さん

新成人から



小林美幸さん  
=平泉寺町平泉寺=

大人になったことで、自由な面もありますが、義務も果たさねばなりません。気持ちを新たにがんばろうと思います。勝山は地域に密着した人間関係があり、温かな人間性が好きです。



山本直樹さん  
=滝波町4丁目=

成人式実行委員会委員として企画運営に携わって、非常にやりがいがありました。県外に出ていて久々に見る友達の顔もあり嬉しいです。大人としての自覚や責任感を持ち、感謝の気持ちを大事にしたいです。勝山は自然が豊かですが、もっと若者が集い楽しめるような場所が欲しいです。



アトラクション 勝山高校郷土研究会  
創作和太鼓組曲「勝ち山左義長物語」